100億宣言

株式会社トラストコーポレーション（建設業）

TRUSTCORPORATION
TRUSTCORPORATION



主力商品　系統用蓄電所・太陽光発電

〇本社所在地：広島県広島市安佐南区
〇事業概要：野立て太陽光発電設備
　および系統用蓄電所（高圧・低圧）
　の開発・設計・施工・保守管理
〇常時使用する従業員：23名
（グループ全体・2026年10月時点）
〇現在の売上高：21億円
（グループ全体・2026年1月期）
〇法人番号：8240001055631
〇Web：https://trustcorporation.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
三木　庸平

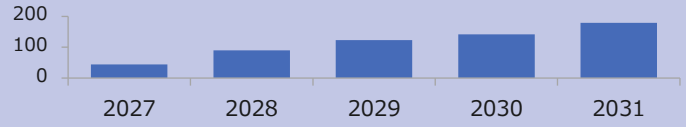
自然と共存する企業を目指して

当社は太陽光発電設備の施工を一件ずつ積み重ね、確実な施工と実績によって信頼をいただいてまいりました。再生可能エネルギーはいま、「つくる」段階から「ためて、必要なときに届ける」、そして「使い終えた設備を資源として循環させる」段階へと広がりつつあります。EPCで培った開発・設計・施工の総合力を系統用蓄電所へ、さらにグループ会社とともに発電所の保守・リパワリングから使用済み太陽光パネルの再資源化までを担う体制へと広げてまいります。売上高100億円という目標は、その挑戦を支える人材と技術に投資し続けるための、私たち自身への約束です。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年にグループ売上高100億円を達成し、2031年に179億円を最終目標とする。



課題

・高圧／特別高圧案件に対応する電気設計・系統連系・施工管理人材の確保と育成
・蓄電所の適地確保と、系統連系枠を見据えた開発パイプラインの継続的な構築
・施工キャパシティの拡大と施工品質の標準化
・2032年以降に本格化する使用済み太陽光パネルの大量廃棄に対応する処理体制の整備

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

・低圧系統用蓄電所の規格化・量産による反復可能な開発施工体制の確立
・高圧／特別高圧の系統用蓄電所への展開による1案件あたり単価の引上げ
・NonFIT太陽光発電所のEPC受注拡大と、事業会社への継続的な譲渡スキームの構築
・自社保有の蓄電池による売電収入というストック型収益の積み上げ
・グループ内での撤去・処分・再資源化の内製化による原価低減と提案競争力の強化

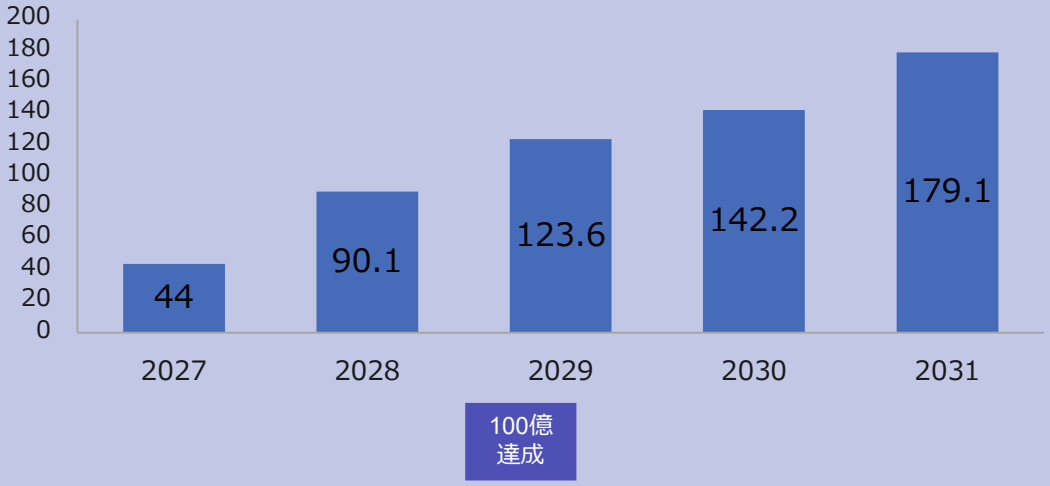
実施体制

・高圧／特別高圧に対応する電気設計・系統技術の専任体制を新設
・用地開発担当および施工管理職の採用・育成を継続
・グループ2社体制（EPC・保守／中間処理・再資源化）による一貫供給
・開発から施工・引渡し・保守までを一元管理する案件管理システムの整備

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

株式会社トラストコーポレーション（建設業）

売上高100億円実現の目標と実施体制



株式会社トラストコーポレーション（申請者1）
・太陽光発電設備のEPC　・系統用蓄電所（高圧・低圧）の開発・施工
・発電所の保守管理

会社法上の子会社（出資比率100%）

Kazu-tech有限会社（申請者2）
・建設発生残土処分・産業廃棄物収集運搬及び処分業
・建築物の解体処分業　・使用済み太陽光パネルの再資源化

うちKazu-techの売上計画（単位：億円）　5年間合計 68.8億円



① 使用済み太陽光パネルの再資源化

・2032年以降、FIT期間の満了により大量廃棄が本格化
・グループ内に中間処理拠点を整備し、撤去・運搬・処分・資源回収を一体化
・ガラス・金属・シリコン等を分離回収し、埋立処分に頼らない資源循環へ
・産業廃棄物処理業の許可申請講習会（収集・運搬課程）修了者を配置し、法令遵守を徹底

② 建設発生残土の適正処理と地域連携

・地域の建設業協会等と連携し、河川工事等の建設発生残土を受入
・受入可能土量20万m³・80万m³の2拠点体制で運営・計画
・地域の公共工事に不可欠な残土の行き先を確保
・造成・場内管理・重機運用のノウハウを活かし適正処理を徹底

③ 再エネの安定供給と地域貢献

・NonFIT太陽光により、補助制度に依存しない再エネ導入を推進
・系統用蓄電所で出力変動を吸収し、電力系統の安定化に貢献
・長期保守・リパワリングで既存設備を解体せず長く使い続ける
・地域での雇用創出と施工管理・電気技術者の育成に継続して取り組む

〇法人番号：8240001055631（株式会社トラストコーポレーション）、6240002025049（Kazu-tech有限会社）
※売上高はグループ2社の単純合算（トラストコーポレーションは1月期決算、Kazu-techは6月期決算）。グラフの横軸は暦年ベースです。